

LOVE OUR BAY! 海ごみゼロ! プロジェクト

LOVE OUR BAY 実行委員会

<ごみ拾いのきっかけ作りと海洋ごみ問題の周知拡大で意識と行動に変化を!>

千葉県は3方が海で、東京湾・太平洋両方からの海洋ごみが流れ着き、海のレジャーにおける景観の悪化や安全性の問題などを千葉県も調査、指摘し、観光や産業への影響を懸案事項として3Rの推進を提唱している。ただ、その活動は乏しく、このプロジェクトでそれを実行すべく、大規模イベントでの周知や、地元局としてのネットワークを生かし、ごみ拾い活動（ごみを拾えば捨てなくなる!）のきっかけをつくることで、県民の意識と行動を変えていくことを目指す。

2022年度 実施状況について

■幕張メッセでときどきフリーマーケット

海洋ごみ問題への認識を拡大するために、親和性のあるイベントでの周知と、実践を合わせた展開を行うことで効果を狙っていく。



・概要：フリマイベントでの拾い箱・パネル展示、プラスチックフリー容器の活用
 ・目的：エコ意識の高い来場者13万人へ訴求
 ・場所：幕張メッセ国際展示場1～6ホール
 ・連携先：幕張メッセ、飲食店各店
 ・効果：3日間で13万人が来場し、短期間で多くの人にアプローチできた。ブースでの周知も行い、4万食のプラスチックフリー容器での料理提供は、エコ意識の高い来場者は興味を示し、CFBロゴやバナー、サインの露出で、認識も高まったと言える。

■拾い箱

海に囲まれ、海岸漂着ごみが多い場所柄、海でごみ拾いをするきっかけを作れないか？住民、観光客ともにごみ拾いを日常化するための試み。



・概要：ごみ拾い専用回収BOX「拾い箱」を設置
 ・目的：サーファーを中心に、海でレジャーを楽しむ人にごみ拾いのきっかけ作り提供。
 ・場所：旭市～南房総市のサーフショップ5ヶ所
 ・連携先：各サーフショップ
 ・効果：昨年からの実施で「拾い箱」の周知が進み、参加者が増えたとの声。サーフショップからもビーチのごみが減ったのはもちろん、駐車場など、周辺のごみが減少との感想があり効果が出てきている。

■フレンドシップ店舗～帰りにごみ拾い!

街中のごみが海洋ごみになるという事実の周知と、それに取り組むには、日常のごみ拾い習慣が必要であり、そのきっかけ作りが必要。



・概要：ごみ拾い用のごみ袋と軍手を配布。
 ・目的：街中のごみ拾いを日常化させていくこととそのきっかけをつくること。
 ・場所：千葉県内のフレンドシップ店舗約120店
 ・連携先：フレンドシップ店舗各店
 ・効果：各店からの「帰り道ごみ拾い」を提唱。オリジナル軍手とごみ袋2000セットを各店に割り振って実施したところ、好評で軍手とごみ袋の追加依頼が多くの店舗からあったほど参加頂いた。

■日本まるごとごみ拾い

ごみ拾いをイベント化することで、皆で楽しくごみ拾いができないか？また参加することでごみへの意識を変えて「捨てない意識」を育てられないか



・概要：千葉県内で約20ヶ所で一斉清掃。
 ・目的：ごみ拾い活動に参加するきっかけをつくり、イベント等で参加のハードルを下げる。
 ・場所：千葉県内外合計約20ヶ所
 ・連携先：まるごとごみJAPAN、千葉県他
 ・効果：今年は11月23日に一斉ごみ拾いを実施予定が悪天候で中止になり、その後11月下旬から1月下旬にかけて各地で分散解散にて実施した関係で参加人数は減ったが、毎週のように開催されて露出が増えたことで広がり効果は出た。

コラボ商品



- 銚子灯台子ーラ
- 夜明けの炭酸水



●J:COMチャンネル「県民の日」ちばワクワクフェスタ2022
 7/16 & 7/17・18時～
 7/18・21時～



●拾い箱設置に関して・・・
 9/2「千葉日報オンライン」他
 「時事ドットコム」「@DIME」
 「@niftyビジネス」他20以上掲載

メディア露出



●7/18 bayfm海の日特番
 海と日本人に関する意識調査を紹介。帰り道ごみ拾いの紹介と呼びかけ他



●10/9THE FLINTSTONE
 海洋ペットボトルごみが原料のアパレル紹介で海洋ごみ問題について放送

2022年度の課題とこれからの展望

これまで局からの発信としてLOVE OUR BAYというメッセージを30年近く発信してきたが、昨年からはCFBに参加させて頂き、メッセージの発信だけでは、人は行動を起こしてくれない。行動を起こすための「きっかけ」が必要ということを実感した。「きっかけ」があれば行動し、今年はこの「きっかけ作り」に重点を置いたが、来年以降はこれを続けることで「習慣化」をさせていきたい。また、意識の高い人たちとその他一般の人たちとの差が激しい。大勢の人に周知 & きっかけを作る展開も合わせて実施していきたいと思う。